

Interview  
試行錯誤の世界



オーライ!ニッポン大賞で東北から唯一の受賞となった門脇さん。

から今回の受賞に至る理由が見えてきました。また、「これまで自分自身のことを話す機会は少なかった」と、今まで語られてこなかったお話もお伺いすることができました。

きっかけはルームメイト

高校卒業後、千葉県にある短大の国際教養科で学び、同県の民間企業に就職した門脇さん。農業には全く興味がなく帰郷は考えていませんでした。しかし、職場の人間関係に疲れて退社したそうです。

平成7年2月、語学留学として1年間、中国北京に留学します。実は小学校4年生に見た三国志の人物劇に魅せられて、舞台となった場所を訪れたいと思っていたことも留学した理由の一つだったそうです。そこで帰郷のきっかけとなるルームメイトに出会います。そのルームメイトは3歳上の韓国人。ルームメイトとなって間もなくの夜、お互い第2言語の英語で話している中で、「ルームメイトは自分の国のことを語っているのに、

自分は言い返さないし聞くだけだった」とのこと。「自分の生まれ代とこのころのはずなのに...」そんな思いを抱えながら多くの人と交流する中で足元を見るところから始めようと帰郷し、両親の手伝いを始めます。

これが正解というものはない

門脇さんが帰郷した約二年後の平成10年10月10日、農家の宿星雪館をオープン。平成14年からは菓子製造業にも取り組んでいます。門脇さんのお母さん・昭子さんが始めた星雪館は、現在、門脇さんが代表を務め、両親とともに県外にとどまらず海外からもたくさんのお客さんを迎えています。「初め母が代表だった頃は子育てが終わった世代が、私が代表になってからは、子育て世代や外国人のお客さんが多くなりました」と年代も様々。

農業体験の学生を迎え入れたときには「テーマを一つ決める。ほうれん草はこうやって育てるとか何か一個これをやったというのを覚えて帰ってもらう。詰め込みすぎずにコミュニケーションを大事にしている」とのこと。「何が正解かわからないけれど、その人に合う受け入れの形で満足してもらって、けがもなく、また来てくれたら合格」と、常にお客さんをお考えながら試行錯誤している様子が見えます。

コロナ禍のいま

「お客さんは9割減りました」と門脇さん。今までは農業×民宿×加工の三本柱でしたが今は農業の一本でほかの二本をカバーしている状態だそう。人流が減り、先行き不透明の中「できる範囲でどうしていくか、どう転換していくか」を考えたときに「知識と技術は自分の財産。この一年は我慢と勉強でした」と。さらに昨年、これまでは二階がお客さんの長期滞在のスペースでしたが、一階を体験スペースとして整備し、宿泊客がいても日帰りの体験が受けられるようにしました。

今年受け入れたお客さんの中には去年入社したもののリモートワークが続いている社会人二年目の女性二人がいました。朝にはじゅんさいを摘んでみそ汁に、農作業ではトマトやなすを収穫し生かじりする体験を。「普段はビルで働いているけど、週末は違う世界に来る」、そんな時間を過ごしに都会の人に来てほしいと話します。

持続性のあるグリーンツーリズム

(一社)仙北市農山村体験推進協議会の副会長を務める門脇さん。自身だけではなく仙北市全体にも目を向けています。60年代後半から農家の副業としてブ



訪れた方とのコミュニケーションを大事にする門脇さん。みんな笑顔で帰っていきます。

リンシーズンに行われ、90年代からは生きがいがづくりや収入アップとしても広まったグリーンツーリズムですが、「毎年一定した収入があるような持続性のあるグリーンツーリズムにシフトしていかなければいけない」と話します。

今後の目標をお伺いすると「若い人が仲間にはいると横のつながりができて、それぞれ違う形の体験ができて、お客さんをお呼び上げられる」と話します。

取材中には温かい笑顔と何度も言葉にしていた「自分だけでは何もできない」「地域の皆さんのおかげ」「周りがつくってくれた」と感謝の気持ち。そんな門脇さんの人柄だからこそ周囲が応援し、お客さんが引き寄せられるのではないかと思います。

皆さん、こんにちは(大家好・ダージャアハウ)! そろそろ畑に秋野菜を植え替えようと考えている仙北市国際交流員、台湾出身の黄敏(ファンミン)です。最近夏野菜たちの終わりが見えてきましたが、キュウリだけはずっと元気でした。やっぱりキュウリ恐るべしです。そして今年一番の収穫は初心者でもおいしいトウモロコシとスイカを作れることがわかったことです。

買 人気の台湾ブランド商品を販売

台湾在住の日本人ライター・青木由香先生のセレクトショップ「你好我好」の雑貨や、おしゃれな靴下ブランド「テンモア」、キャンパスバッグブランド「MOGU」の商品など、日本人に人気の商品を取り寄せました。残念ながら台湾祭が延期になってしまったため、祭に先んじてハートハープ台湾物産展ブースで販売しています。これらのブランドの販売は、今回でおそらく秋田初上陸!?と思われる。台湾の中でもこの三つのブランドはとて有名で、私が台湾にいた頃もずっと気になっていました。隣県にすら行けない今、異国の雑貨を秋田から離れることなく、まして台湾に行かなくても入手できるチャンスはなかなかないと思います。ぜひお見逃しなく!

- ▶你好我好/台湾雑貨セレクトショップ
- ▶テンモア/台湾靴下ブランド
- ▶MOGU/台湾キャンパスバッグブランド

楽 豪華景品抽選会

仙北市国際交流協会の会員さまから素晴らしい景品が集まり、台湾祭を盛り上げるために協力していただきました。玉川温泉をはじめ、休暇村乳頭温泉郷、花葉館、クリオン、グリーンツーリズムの宿からも宿泊券のご提供をいただいております。仙北市内の人気宿泊施設の宿泊券が高確率で当たります。ほかにも仙北市内の数多くの施設から提供していただいたおすすめグッズが盛りだくさんです。



お知らせ

9月4日(土)と5日(日)に予定されていた「台湾祭～北投石が結ぶ温泉提携10周年記念イベント～」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、10月16日(土)・17日(日)に延期することになりました。場所は変わらず、仙北市民会館です。当イベントを楽しみにしていた皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

今回のイベントを企画しているときに、もっとも心がけたことは「誰でも楽しめること」です。毎年必ず1回以上台湾を訪ねる台湾通はもちろん、台湾に行ったことはないけど興味はある!という方にも、おもしろいと思われるようなイベントにしたいと考えています。このことを踏まえて、台湾祭のイベント内容をご紹介します。

食 台湾料理のテイクアウト

台湾といえばの「タピオカ」をはじめ、最近話題を呼んでいる「台湾カステラ」などを会場でテイクアウトできます。そして台湾大衆料理の

「魯肉飯(ルーローハン)」、「蔥油餅(ネギ餅)」など、台湾を一度訪ねたら忘れない味もお買い求めいただけます。特に魯肉飯は甘じょっぱい味付けのお肉でごはんが進む一品、日本人の舌に合う味付けとなっています。自宅できゅっくりと台湾旅行気分を味わってください!

- ▶Share/台湾タピオカ
  - ▶川村商店/台湾カステラ
  - ▶樗食堂/魯肉飯(ルーローハン)、ネギ餅
- ※ほかの出店者も決まり次第、お知らせします。

地域における催事の重要性

コロナ禍の影響で、イベント中止というニュースはこの2年でよく耳にします。それをきっかけに年間行事の存在理由や意味について考えるようになりました。昔からの行事を通して文化を受け継いでいくこと、イベントで高揚感・達成感を味わえること、非日常体験によって視野が広がること、周りの人の絆を深めること、社会とつながっていると実感すること、そして人は思い出で構成されていくこと、これらは今まで考えもしませんでした。イベント開催が難しくなったこの夏でイベントの存在意義を改めて実感しました。これからは季節の変わり目ですので、どうぞご自愛のうえお過ごしください。

台湾祭は関連ガイドラインに従い、コロナ対策をしっかり実施したうえで開催となります。会場内では必ずマスクを着用してください。また、上映会は座席間隔を1席ずつ空けての上映になっています。ご来場の際には対策についてご協力をお願いします。なお、社会情勢を鑑みて、中止や規模縮小の可能性のあることを、あらかじめご了承ください。